



環境の変化に柔軟に適應することが求められる時代

校長 村澤 和夫

今年度は、新型コロナウイルス感染症への対応で、様々な変化への適應が求められた1年間でした。『新しい生活様式』は私たちの日常生活を一変させ、マスクの着用や手洗いが生活習慣として完全に定着しました。おかげで、今年度はインフルエンザやノロウイルスに感染する人も大幅に減っています。

学校の行事も大きな影響を受けました。行事の中には、残念ながら中止になったものもありました。2月末に実施した『マーチングバンド引継式』や『6年生を送る会』のように、内容や方法を大幅に見直して実施したものもありました。保護者の皆様、地域の皆様のご理解とご協力に助けられました。ありがとうございました。

私たちの生活は常に様々な変化にさらされています。ゆっくりと変わっていく変化もあれば、今回のように急激な変化もあります。コロナ禍ではなくても、例えば4月から新たに進学・就職される方は、環境や人間関係の変化にさらされますよね。

変わるのはいやだなあと思っている、ずっと変わらずにいることは不可能です。何とか受け入れて、前進するしかありません。次年度もコロナ禍はまだ続くでしょうし、学校も新たにGIGAスクールに取り組むなどの変化がやってきます。今後は児童数の減少やそれに伴う学級の減少、そして職員数の減少への対応も迫られることでしょう。

好むと好まざるとにかかわらず、変化はやってきます。変化に対応していくのは苦勞します。しかし、『**最も強い者が生き残るのではなく、最も賢い者が生き延びるのでもない。唯一生き残ることが出来るのは、変化できる者である。**』という言葉もあります。(進化論で良く聞く言葉です。でも、ダーウィンの言葉じゃないそうですが…)

従来やり方に固執して新しい挑戦を拒み、自分は変われないと思いついては、環境の変化に適應できなかった恐竜のように滅んでしまいます。

小さな子どもたちは、まだ守るものも失うものも少なく、怖いもの知らずで、だから適應する力も強いです。それ故に新しいことへの変化を恐れず、挑戦することができるようです。大人が子どもに学ぶのは、こんなところかもしれませんね。



← マーチングバンド引継式の様子です。
次のメンバーにバトンを引き継ぎました。

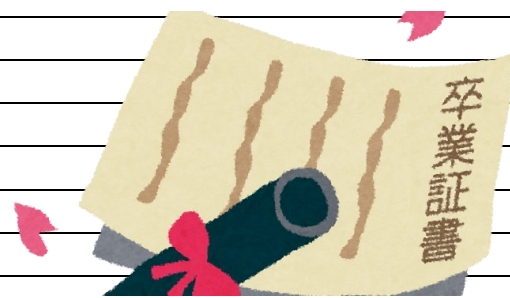


↑

6年生を送る会の様子です。コロナの影響で、内容をかなり見直しましたが、無事開催することができました。

3月の予定

日	曜	行事等
1	月	まとめテスト実施期間(5日まで)
2	火	
3	水	校外子ども会
4	木	
5	金	児童朝会 ALT
6	土	
7	日	
8	月	
9	火	
10	水	
11	木	委員会活動 PTA総務会
12	金	音楽朝会
13	土	
14	日	
15	月	ALT
16	火	
17	水	朝清掃
18	木	
19	金	ALT
20	土	(祝)春分の日
21	日	
22	月	給食最終日
23	火	第3学期終業式
24	水	第74回卒業証書授与式
25	木	離任式 学年末・学年始休業(4月5日まで)
26	金	
27	土	
28	日	
29	月	
30	火	
31	水	



2月27日(土)にPTA奉仕作業を行いました。昨年は、コロナ禍のために実施できませんでしたので、2年ぶりの作業となりました。多数の保護者と児童の参加で、校舎の窓ガラス等の清掃を行うことができました。ありがとうございました。

児童の活動の様子は、随時、学校ホームページに掲載しています。

<http://akadomari-es.sado.ed.jp/>

